



下水道事業 (適正な下水道使用料について)

1. 下水道はみんなの使用料で支えられています

水道水を出しっぱなしにしちゃだめよ！水は大切な資源なのよ。大切に使わなきゃだめよ。節水を心がけてねー！

わー 魚がしゃべったー

僕は「ガーラ君」普段はマンホールのふたに住んでいるんだ。

今日は、マンホールから出てきて「那覇市の下水道について」説明するよ！ママ、節水すると、水道料金だけでなく、下水道使用料も安くなるんだよ？

えーっ！下水道使用料も!?

そうなんだ。下水道使用料は、水道水を使用した同じ使用水量で料金を計算しているのよ。水道水を節水すると下水道使用料も同じ様に節約できるんだ。水道料金と下水道使用料を合計した額を上下水道局に毎月支払っているんだよ。※1

それじゃあ、下水道についてもう少しお話しするね。

はーい！

※1 下水道に接続していない場合は水道料金のみのお支払いになります。

区分	11月分	12月分
下水道使用水量	20	19
下水道使用料金	22	1
水道料金	2,955	2,865
下水道使用料	302	154
合計	1,636	1,489
合計	4,933	4,508

2. 下水道の役割

下水道には大きく分けて2つの役割があるんだ。

1つ目は、街に降った雨を素早く海に放流して、洪水が起こらないようにして街を守っているんだ。(雨水を排除する役割)

2つ目は、みんなが洗濯、トイレ、お風呂、料理などで使った水を、そのまま川や海に流してしまうと川や海を汚してしまうので、その水をきれいにしてから海に流すことによって川や海をきれいに保っているんだ。(汚水をきれいにする役割)

また、那覇市の下水道はその「雨水を排除する管(施設)」と「汚水を排除する管(施設)」は別れているんだよ。※2

※2 汚水の管と雨水の管は別に設置されています。これを「分流式」といいます。那覇市は分流式です。

『雨水公費・汚水私費』※3

へーそうなんだ。下水道使用料は雨水と汚水のために使われているんだね。

そうではないだよ！雨水に係る費用は税金でまかなっていて、下水道使用料は汚水のためだけに使っているんだ。下水道事業には『雨水公費・汚水私費』という原則があるんだよ。※3

雨水公費→ 雨は自然現象であり、雨水を排除する受益が広く及ぶことから、そのための費用は税金で負担するということ。

汚水私費→ 汚水は人の日常生活等で生じるものなので使用者に負担していただくということ。

汚水は、使った人が使った分だけ支払うということなの

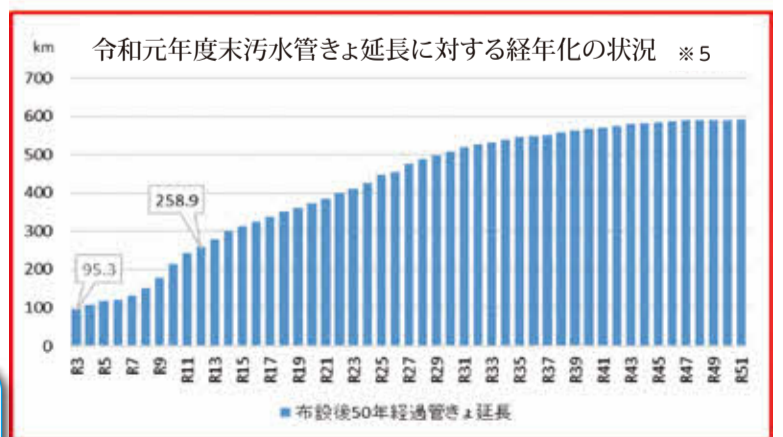
そうだねー！

下水道使用料は、汚水のどんな事に使われているの？

下水道(汚水)事業では、家庭などからの汚水を集めるための污水管やポンプ場、集めた下水をきれいにする浄化センターなどたくさんの施設が必要になるんだ。

上下水道局の下水道管だけでも令和元年度で約745km(污水管 約591km、雨水 約154km)もあり、およそ那覇市から宮崎県宮崎市までの距離があるんだ。これらの施設の建設、古くなった管の取替工事、修繕、維持管理、汚水の処理費用などにものすごくたくさんのお金がかかるんだ。その費用を、みんなからいただいた下水道使用料などによってまかなっているんだよ。※4

※4 一部の公費負担を除いては、下水道使用料で経費をまかなっていることから、独立採算性といえます。



※5 令和3年度(2021年度)には布設後50年を経過した污水管は約95.3kmとなっていますが、今後さらに増加する傾向にあります。そのため管路の長寿命化に向けた取り組みを行っているところです。



下水道事業 (適正な下水道使用料について)

3. 下水道事業はお財布がきびしい!!



那覇市は、汚水の浄化センターを持っていないと聞いたことがあるよ。



たくさんのお金が必要なのにさらに費用が増えたんだね。そういえば、下水道事業は、たしか借金もたくさんあると聞いたことがあるな。



那覇市は汚水をきれいにするための施設である浄化センターは持っていないんだ。

浄化センターは、沖縄県が管理・運用している施設なんだ。そのため、上下水道局は沖縄県的那覇浄化センターに汚水を送って処理してもらっているのだから、その汚水処理費用を県に維持管理負担金として支払っているんだ。

下水道使用料の約半分はその維持管理負担金に充てているんだよ。\*6 さらに令和2年10月に、汚水処理費用として県に支払う維持管理負担金が1㎡あたり47円から50円に引き上げられて、その影響は年間約1億円の費用増になったんだ。

パパ すごいねー 良く知ってるねー

令和3年度末で借金の残高が約125.3億円(汚水81.7億円、雨水43.6億円)もあるんだ。

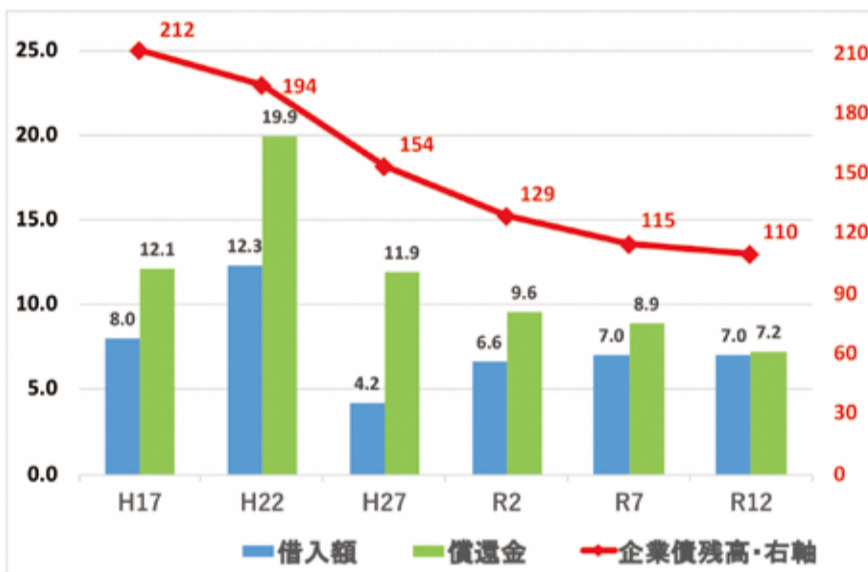
今、上下水道局では、古くなった下水道施設の取替や耐震化を進めるためにたくさんのお金\*7がかかっているけれど、下水道使用料の収入では足りなくて毎年あらたに借金(企業債)\*8をしているんだ。また、これまで下水道を整備するためにたくさんのお金を借ってきたから、毎年、その借金(償還金)を返済しなくてはならないんだ。

\*7 改築や更新にかかる費用は、年間約10.6億円を見込んでいます。

\*8 借金(企業債)：地方公営企業が建設・改良等に要する資金に充てるために地方公共団体金融機構等から借り入れている。

\*6 令和4年度予算で下水道使用料収入約37.2億円の内、沖縄県下水道事業への維持管理負担金は、約19.4億円で約52%を占める。

企業債残高と借入額・償還金の推移



借金の返済にも下水道使用料は使われているんだね。借金の返済もあるし、下水道の建設や維持のためにお金が足りないで大変なんだね。

うん、毎年多くのお金を借金の返済に充てているんだけど、毎年あらたに借金もしているんだ。

今のところ借りる額より返す額が多いので借金の残高は年々減らすことが出来ているんだけど、将来的には借金がまた徐々に増えることになりそうなんだ。できれば、将来の下水道施設の建設や更新のためにお金を貯金したいんだけど、そのお金を借金返済にあてている状況なんだよ。



このまま また借金が増えていくと、僕たちが大人になるときは、どうなってしまうの。



借金は無限には出来ないし、借金が増えることで、支払う利子もどんどん増えるので、いまよりもっとお金が足りなくなるんだよ。お金が足りなくなると、古くなった下水道施設を新しくしたりできないし、壊れても修理できなくなるとみんなの生活に影響がでてしまわないかと心配になるね。子供たちや、将来の世代が大きく影響を受けることになるかもしれないね。



子供たちが将来困らないようにするには、どうしたらいいのかしら。

4. 今後の下水道事業について考える



そうだね、今後もたくさんのお金が必要になるんだけど、将来的には人口の減少や節水機器の普及によって、下水道使用料収入はだんだん少なくなると予測されているんだ。

上下水道局では、できるだけ、今の施設を少しでも長く使用できるようにしていることに加えて、下水道事業の効率的な運営にも努めているんだけど、それだけでは補えないと考えていることから「適正な下水道使用料」について検討することが必要だと考えているんだよ。



僕たちの将来のために、これからも下水道を安心して利用し、川や海を大切にしたいな。

上下水道局では皆さんの生活になくてはならない下水道事業を将来にわたって継続して運営できるように、また課題を将来に先送りしないために、将来の下水道事業にかかる費用をまかなうために必要となる「適正な下水道使用料」について、いま検討しているんだ。

この検討は上下水道局だけではなく、外部の委員(市民や有識者など)で構成する「上下水道事業審議会」の意見を伺いながら進めていくよ。



【お問い合わせ】企画経営課 TEL:941-7802 FAX:941-7821

